

総務民生常任委員会記録

1. 開催日時 平成 30 年 6 月 29 日（金） 午前 10 時 15 分
2. 場 所 市議会議事堂
3. 出席委員 吉津委員長・江原副委員長・田村委員・三輪委員・
長尾委員・岩藤委員・橋本委員・綾城委員
4. 委員外出席議員 武田議長
5. 欠席委員 なし
6. 執行部出席者 別紙のとおり
7. 議会事務局職員 永田局長・岡田次長・佐伯書記
8. 協議事項
6 月定例会本会議（6 月 29 日）から付託された事件（議案 1 件）
9. 傍聴者 なし
10. 会議の概要
 - ・ 開会 午前 10 時 15 分 閉会 午前 10 時 23 分
 - ・ 審議の経過及び結果
(別紙のとおり)

上記のとおり相違ありません。

平成 30 年 6 月 29 日

総務民生常任委員長

吉 津 弘 之

記 録 調 製 者

佐 伯 加 寿 馬

吉津委員長 本日の出席委員については委員 8 人であり、定足数に達しておりますので、ただ今から、総務民生常任委員会を開会します。それではこれより、本会議で本委員会に付託されました議案 1 件について、審査を行います。それでは、議案第 19 号「工事請負契約の締結について（日置保育園建築工事）」を議題とします。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

藤田企画総務部長 特にございません。

吉津委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑はありませんか。

田村委員 お手元に資料があると思います。これは財政課からいただいた資料で作ったものですけど。これを見て、今回の 98.8%という落札率、これは過去にも 99.7%とかありますけれども、非常に高いというのが率直な感想があります。これは入札制度については、個々の企業の中身までということはできませんけれども、この 98.8%の落札率について、執行部のほうはどのようにお考えになっているかお尋ねいたします。

長尾財政課長 落札率は予定価格に対する落札額の割合を示すものでありまして、市といたしましてはどの基準をもって高いとか安いとかというところが、なかなか難しいんじゃないかというようには思っております。ただ、今、資料にもございますように、昨年から現在までの 1,000 万円以上の建築工事の平均落札率は 13 件で、97.7%、また、1 億円以上に限定いたしましても 3 件で、平均落札率 96.2%となっております。当該工事につきましては、平均よりは高いというふうには思っております。

田村委員 高いと言っても基準はないわけですから、私もそれ以上はつけ込みませんけれども、ただ、この間、この 1、2 年入札制度がいくつか変更がありました。共同企業体でやるやり方、単独でね。それと単独でも良い、共同企業体の合同でも良いというやり方になりました。こういう様々な入札制度の変更というものは、一体何のためにやったのか。その効果は出ているというふうにお考えなのか、そのあたりをお尋ねいたします。

長尾財政課長 今おっしゃられましたように、昨年度までいろいろと制度改正と言いますか、やってきたところでありますが、今おっしゃられた混合というところのやり方等につきましても、競争力を担保するというところの中で改正をされたというふうに考えております。また、そういったところにつきましても、昨年度、変動型にされて制限価格制度というのも導入しておりますけれども、同価格の入札の抽選が減ったというふうなところもありまして、競争力を保ててきたんじゃないかと。また、さらに言いますと、今の混合につきまして

は、現在財務規則のほうにも記載させておりますように、競争入札については3社以上が望ましいというような起点もありまして、そのための、それに習った形で現在混合についても3社以上の指名が占めております。参加が求められるような制度になっておるといふふうに認識をしております。

田村委員 今競争力の確保のために、改正制度の見直しをしたと。でもね、今回の日置保育園の入札結果を見ても、3社、全体では3つですね。やっているけども、もう本当わずか10万円くらいの差ですね。金額的に。これね、競争になっているのか。こうなる理由というのは、業者さんの積算能力というのが、コンピューターのいろいろな性能もあるんですけども、圧倒的に正確さが出てきて、非常に近いものが出てくるという予定価格、ということが現実的にあるならば、それはそのまま放置しておいて、いつまでたっても、今度から99.何%という落札率にほとんどなってきますよね。それで良いのかという。何とかこれ、どこかで、今の積算能力の向上ということに対して対策というのは僕は必要ではないかと思えますけど、そのあたりのお考えをお尋ねいたしまして終わります。

長尾財政課長 今の一般的ではございますが、こういった建築工事につきましては、一般土木工事に比べて特殊な材料が多くて、予定価格の算出をする際に見積りと言いますか、そういったもので単価を決定している場合が多いということ、また、この建築工事につきましては事前公表ということでの予定価格を出しておるといふこともあります。これも一般的ではございますが、落札率が高いというふうに言われておるところであります。議員さんおっしゃる対策というところにはなろうかと思えますが、市といたしましては、予定価格が標準的な工事をした場合の標準的な価格ということで、またそれに対しまして、入札参加企業に各々の積算をされて、入札額というものを出されるということでありまして、なかなかこれという対策というものは難しいかとは思っております。ただ、市といたしましては、予定価格の算定に適正な、と言いますか、適正な予定価格の算定に努めるということが一番大事なことではないかというふうには考えております。

吉津委員長 ほかにございませんか。ご質疑もないので、質疑を終わります。討論を行います。ご意見はありませんか。ご意見もないので、討論を終わります。採決します。議案第19号について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。挙手全員です。よって、議案第19号は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。以上で、本委員会に付託された議案の審査は終了しました。これで総務民生常任委員会を閉会します。どなたもご苦労様でした。